愛中だより

学校教育目標

「結の心」　**「靭の心」**

相手を敬い、優しく思いやる心　柔軟な強さを持つ心身

学校ブログ、日々更新中！！

共に関わり、喜び、伸びていこう

校長　藤本　謹吾

夏季休業期間中には二つの大きな災害がありました。７月 28 日の熊本地震、そして８月 13 日から 14 日にかけての千葉豪雨です。あらためて、尊い命を失われた方々とそのご家族の皆さまに深く哀悼の意を表するとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

またこの夏は海外でも大地震の災害がありました。６月にはベネズエラで、そして８月にはコロンビアで多くの方が被災され、亡くなられた方もたくさんいます。その方々にも心を寄せていきたいと思います。

さて、８月 22 日から 26 日にかけて、中国・北京市で「第２回世界人型ロボット運動会」が開催されたことをご存じの方も多いと思います。サッカーワールドカップや夏の甲子園高校野球とは違い、専門の番組放送があるわけではないので、報道等でその内容を断片的に見るだけでしたが、なかなか興味深いものでした。

世界ヒト型ロボット運動会 100m走で、人間の男子世界記録であるウサイン・ボルト選手の９秒 58 を超える９秒 32 の記録が出されたことはかなり大きく扱われていました（なんと決勝では出場した５体全てが８秒台です）が、その他にも人間の記録を超えるものが数多くあり、「ロボットの技術はここまできているのか」と感じる一方、例えばサッカーでは連携したチームとしての動きやパスの概念は見られず、「やっぱり人間はすごいのだな」と力強く感じました。そしてこの２つの感じ方にはうまく言えませんが明らかな違いがありました。

「ロボットの技術はここまできているのか」という感じは、すごいとは思うのですが「畏れ」や「怖ろしさ（とはちょっと違う気もしますが）」があり、どこか冷ややかな感じ方。一方「やっぱり人間はすごいのだな」という感じは、どこまでも明るく「希望」に満ちたとても温かな感じ方。・・・とここまで書いてきて、少し整理できた気がします。「ロボットの技術は・・・」というのは自分がロボットだけを見て持った感じだったのです。あのように動くロボットを研究・開発しているのは人間です。ＡＩを活用しているかもしれませんが、そのＡＩも人間が作ったもの。やっぱり人間は素晴らしくて素敵です。



さあ、２学期が始まりました。学校は、人と人とが関わり合いながら、一人では成し得ない目標に集団で挑み、達成し、その喜びを共有してよりよい人間関係を築いていくことができる場です。特に２学期は合唱コンクールをはじめ、生徒会選挙、修学旅行、遠足、職場体験など多くの行事があります。３年生にとっては「進路」を方向づける大切な時期でもあります。

どの学期も大切ですが、２学期は最もその学年らしい活動ができ、最も充実する学期であると思います。一つ一つのものを大切にしながら、すべての生徒にとって記憶に残る「〇年生の時の２学期」となるよう、教職員一同力を合せて取り組んでまいります。

１学期に引き続き、保護者、地域の皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

愛川町立愛川中学校　　発行責任者　藤本　謹吾　　令和８年９月３０日発行　第３号
住所　愛甲郡愛川町田代 1395 番地　ＴＥＬ　046（281）0094　　ＦＡＸ　046（281）6154
学校ホームページ URL　　http://www.aikawa-edu.jp/sch/aikawa-jhs/

各部の活動報告　三年間の活動をふりかえって　各部長から



● 野球部　厚愛地区総体　優勝　　県央２回戦敗退

厚愛地区で優勝できたのは、チーム全員が最後まで諦めず、勝つことに全力を尽くせていたからだと思います。優勝するまで負けそうな試合もありました。しかし、何とか勝ち、県央に駒を進めることもできました。２回戦で負けてしまいましたが、たくさんの人に支えられ、応援してもらい、幸せな３年間でした。



● 陸上部　男子個人 3000m優勝

顧問の先生の熱心なご指導、先輩方の頼もしい姿、後輩たちの部活に取り組む姿勢があったからこそ、最高の３年間になりました。最高の環境で切磋琢磨し、心身共に大きく成長できたと思います。この部活で過ごした時間は、私にとって、大切な思い出です。本当にありがとうございました。



● サッカー部　厚愛準優勝

愛川中、愛川中原中、愛川東中の三校で協力し、秋は愛川町初となる県央大会で優勝することができました。県大会でも、一勝することができました。たくさんの応援ありがとうございました。



● ソフトテニス部　厚愛ベスト８、県央出場

「愛されるチーム」をモットーに３年間活動してきました。２年生新人戦に続き、総体も厚愛ベスト８という結果になりました。私たちは、「３年生２人」という少人数でしたが支えてくださった人達のおかげで、最後は県央大会に出場することができました。これまで応援してくださり、ありがとうございました。とても幸せでした。



● バレーボール部　厚愛ベスト４

この３年間、優しく教えてくださった先輩方や、全力で支えてくれた後輩たち、先生やコーチの支えのもと、常に上を目指して練習に励んできました。みんなで意見を出し合い高めあえた日々は、大切な思い出です。部活を通して大きく成長でき、素晴らしい仲間や周囲の方々に恵まれて本当に感謝しています。



● 男子バスケットボール　県央出場

バスケ部が目標にしていた「県央大会出場」を決めることができました。最初は試合に勝てず、悔しい思いをたくさんしました。でも、自分たちが３年生になると、勝てる試合が増えて、仲間と喜びを分かち合えました。また、僕たちは「愛されるチーム」を目指して活動してきました。僕たちを最後まで愛してくれて感謝しています。



● 卓球部　県央出場

自分たちが入部したときは、２年生の先輩がいない状況でした。そして、夏に３年生が引退すると１年生は７人になってしまいました。しかし、そのメンバーで切磋琢磨し合いました。最初の頃はどう部活を回したら良いかわからず、悩んだこともありました。けれど仲間と協力し合いどんどん強くなりました。３年間ありがとうございました。



● 美術部　美術部合同スケッチ大会　中文連展示会発表

中文連展示発表会では、部員の制作した作品を展示し、日頃の成果を発表しました。合同スケッチ大会では、他校の生徒と一緒に風景を描き、様々な表現方法を学ぶことができました。今回の経験を今後の作品制作に生かし、これからも地域や学校に貢献し、部員全体で頑張って行きたいと思います。



● 吹奏楽部　　県央吹奏楽部コンクール出場

３年間を通して、仲間との絆を深めることができました。音楽の経験がなかった私が続けられたのは、先輩や先生方や優しく丁寧に教えていただき、学年の壁を越えて楽しく活動できたからです。仲間と一緒に音楽を作り上げたことは大切な思い出です。ありがとうございました。



● 情報科学部　中文連展示会発表

今年度から、情報科学部として生まれ変わり、学校内のボランティア活動や中文連への作品展示に向けてのスライド作成に取り組みました。中文連展示会ではたくさんの来場者の方々に注目して頂きました。校外学習では、部員同士がコミュニケーションをとり、愛川町の自然と歴史を学びました。３年間、本当にありがとうございました。